

■ 第2期羽曳野市まち・ひと・しごと創生総合戦略の改訂の視点

【共通事項】 ※下線部が改訂箇所となります。

	第1期総合戦略 (平成28年3月策定)	改訂の視点	第2期総合戦略 (素案)
基本目標	① 結婚・妊娠・出産・子育ての希望の実現と「生きる力」を育む教育環境の充実 ② 地域ブランド力を向上させる資源の発掘・整備による地域経済の発展 ③ 地域の活性化・賑わいの創出による都市魅力と地域愛の向上	○修正なし	① 結婚・妊娠・出産・子育ての希望の実現と「生きる力」を育む教育環境の充実 ② 地域ブランド力を向上させる資源の発掘・整備による地域経済の発展 ③ 地域の活性化・賑わいの創出による都市魅力と地域愛の向上
横断的視点	—	○基本目標に加え、新たな視点を追加(国の視点)	①多様な人材の活躍を推進する ②新しい時代の流れを力にする
将来像	ひと、自然、歴史文化を育み 笑顔輝く はびきの ～ みんなでつくる だれもが住みたいまち ～	○修正なし	ひと、自然、歴史文化を育み 笑顔輝く はびきの ～ みんなでつくる だれもが住みたいまち ～

【戦略の柱】

	第1期総合戦略(平成28年3月策定)	改訂の視点	第2期総合戦略(素案)
各柱共通	—	○「SDGsのゴール」の設定(国の視点)	各柱に対応する「SDGsのゴール」を設定
戦略の柱1	羽曳野で若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる	○世代を限定する表現を見直し	羽曳野で結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる
方向性	子どもを安心して産み、健やかに育てられる環境整備を進めるとともに、将来の羽曳野を創造し、担っていくことのできる人材育成の視点に立った「はびきの」らしい教育を充実するなど、若い世代の出会いと“はびきのっ子”の成長を支えるまちづくりを推進します。	○横断的視点から、子育て経験者をはじめとした様々な地域人材など、地域の多様な主体との連携・協力を得ながら支援に取り組むことを明示するため、記載を追記	将来の羽曳野市を創造し担っていくすべての子どもが地域の中で健やかに育ち、子育ての喜びや楽しみを感じながら安心して子どもを生まれて育てることができるよう、結婚・妊娠・出産・子育てまで切れ目のない支援を推進します。
数値目標	合計特殊出生率	○修正なし	合計特殊出生率
数値目標	保育所待機児童数	○未就学部分と就学後部分の指標を一連の指標として子育てに対する支援で記載することが適切との考えから、重点項目②へ移記	—
数値目標	子育てを楽しんでいる市民の割合	○修正なし	子育てを楽しんでいる市民の割合
重点項目①	①結婚・妊娠・出産に対するトータル的支援	○表現の見直し	①結婚・妊娠・出産に対する支援
方向性	結婚を願う男女の希望をかなえるため、出会いの場の創出や就労支援、新婚世帯に対する支援を行うとともに、不妊の悩みを軽減するなど子どもを産みたいという希望を実現できる環境づくりを推進するため、結婚を希望する男女に対して結婚から出産までをトータル的に支援します。	○方向性に変更ないが、表現等を見直し	個々の自由な選択を尊重しつつ、結婚、妊娠、出産を望む人の希望をかなえられるよう、若い世代の負担軽減を図るとともに、相談体制の充実やきめ細やかな情報提供を行うなど安心して結婚・妊娠・出産ができる環境づくりを推進します。
KPI①	支援した若者や女性の就業人数	○適切な指標への見直し(就業人数→受講者数)	地域しごと支援事業受講者数
KPI②	出会いの場の創出事業参加者数	○適切な指標への見直し	マタニティスクール参加人数
重点項目②	②子育てに対する支援	○修正なし	② 子育てに対する支援
方向性	安心して子どもを育てることができる環境づくりを進めるため、子育てに関する一体的な情報発信や、子育てに対する負担の軽減、働きやすい環境づくりなど、子育てのステージに応じた支援を行います。また、子育てにおいては、地域の役割が重要なことから、地域全体での子育て支援体制の充実を図ります。	○施策体系の整理により、「地域全体での子育て支援体制の充実」については、重点項目④へ移記	子どもを安心して育てられる環境を整備するため、子育て期の各ステージに応じた支援や必要なサービスを提供できる環境づくりを推進します。 また、多様な保育・子育てニーズに即した受け入れ体制の確保や施設の充実を図ります。
KPI①		○未就学部分と就学後部分の指標を一連の指標として記載することが適切と考えるため、本項目に移記	保育所待機児童数
KPI②	留守家庭児童会待機児童数	○修正なし	留守家庭児童会待機児童数
KPI③	はびきの子育てネット年間累計閲覧回数	○事業の見直し予定のため、新たに設定	子育て情報発信媒体における情報登録者数
重点項目③	③子どもたちの学びに対する支援	○表現の見直し	③ 子どもの学びに対する支援
方向性	羽曳野市を担う子どもたち一人ひとりの未来につながる多くの発見と、将来の選択肢が広がるような多様な学びの場を提供するとともに、ICT環境整備の推進や、特色のある教育の充実など、新たな学びの機会を提供します。	○横断的視点から、デジタル技術等を活用した効率的で効果的な教育の推進と新しい社会に対応できる人材の育成を追記 ○小学校における外国語(英語)の教科化・必修化を受け、取り組みの充実・強化に着目した表現に修正	将来を担う子どもが、確かな学力を身につけ、豊かな心と健やかな体を持ち、社会にはばたく「生きる力」を育むことができるよう、外国語教育やICTを活用した教育を推進するとともに、多様な学びの場を提供します。
KPI①	将来の夢や目標を持っている児童・生徒の割合	○修正なし	将来の夢や目標を持っている児童・生徒の割合
KPI②	全国体力・運動能力、運動習慣等調査において運動が好きと答えた児童・生徒の割合	○修正なし	全国体力・運動能力、運動習慣等調査において「運動が好き」と答えた児童・生徒の割合
KPI③	はびきの中学生study-O参加者のうち、学校以外で勉強する機会が増えたと感じる参加者の割合	○適切な指標への見直し(ICT関連項目)	全国学力、学習状況調査において「ICT機器は勉強の役に立つ」と答えた児童・生徒の割合
重点項目④	④大学との連携による子育て支援体制の確立	○多様な人材の活躍の推進(国の視点)	④ 社会全体で子どもを支えるための環境整備
方向性	大学が持っている知的・人的・物的資源を活用し、専門性を活かした支援策の検討、講座の実施や遊びと学びが両立した交流空間を形成し、子どもの自発的な成長を促進できる環境づくり等に連携して取り組み、子育てに対する一体的な支援体制の確立をめざします。	○横断的視点から、多様な人材の活躍により、社会全体で子どもを支えるをめぐすことを追記	家庭、地域住民、関係団体や大学等多様な主体とのつながりを強化し、社会全体で子どもを支える環境づくりを進めます。
KPI①	—	○重点項目の見直しの視点に応じた指標の見直し	学校支援地域本部事業に参加しているボランティア数(延べ)
KPI②	大学との連携による新たな事業数(累計)	○重点項目の見直しの視点に応じた指標の見直し(表記の変更なし)	大学との連携による新たな事業数(累計)

	第1期総合戦略(平成28年3月策定)	改訂の視点	第2期総合戦略(素案)
戦略の柱2	羽曳野に新しい人の流れと雇用を創り出す	○修正なし	羽曳野に新しい人の流れと雇用を創り出す
方向性	羽曳野市の活力あるまちの創造と実現に向け、地域の資源や特性を活かした戦略的な観光の振興や効果的なシティセールスを行うとともに、地域振興、地域の活性化を担う人材の育成に取り組むなど、羽曳野に新しい人の流れと安定したしごとを創出します。	○戦略的なプロモーションによる観光振興を追記 ○横断的視点から多様な人材の活躍を追記	持続可能なまちの創造と実現に向け、地域資源を活用した戦略的なプロモーションによる観光の振興を進めるとともに、様々な主体とのパートナーシップとあらゆる人材が活躍できる環境づくりを推進し、新しい人の流れと安定したしごとを創出します。
数値目標	市内就業者数	○修正なし	市内就業者数
数値目標	転入者／転出者の割合	○目標値の見直し(現状値を踏まえた見直し) ○現状値の設定を、第1期総合戦略策定以降(平成28～令和3年)の転入者／転出者の平均値と設定し、目標値は社会増減をなくすことをめざす数値を設定	転入者／転出者の割合
重点項目①	①歴史文化や地域特有の資産を活用した観光の振興	○修正なし	①歴史文化や地域特有の資産を活用した観光の振興
方向性	本市には、街道や寺社、古墳群などの後世に残していくべき歴史・文化資産をはじめ、ぶどう、いちじく、確井豌豆などの農産物、ワインや食肉加工品などの地域特産品など多くの資源があり、それらをネットワーク化することでまちの魅力に磨きをかけるとともに、一元的かつ効果的な情報を発信することで、賑わいの創出と交流人口の拡大を推進します。	○観光資源の活用と賑わいの創出を焦点とし、文章修正 ○考え方の方向性に変更なし	本市の貴重な歴史資産や豊かな特産物等、魅力ある資源をネットワーク化し、観光資源として活用するとともに、一元的で効果的な情報発信を行うことにより、賑わいの創出と交流人口の拡大を図ります。
KPI①	観光案内所来所者数	○新たな観光拠点の来所者数の推移を指標に設定	観光ビジターセンター来所者数
KPI②	羽曳野市観光協会ウェブサイトアクセス数	○観光プロモーションの視点から、観光局と連携した、新しい本市の観光の情報発信を設定	SNS等による観光案内情報アクセス数
重点項目②	②移住・定住の促進	○修正なし	②移住・定住の促進
方向性	若者や子育て世帯を中心に、移住・定住を促進するため、相談窓口の設置や空き家等の有効活用をめざすとともに、不動産事業者とも連携し、きめ細やかな情報提供が可能となるようウェブサイトや紙面等を活用し情報提供を行います。また、本市の特徴を活かした「生涯活躍のまち」についても検討を進め、まちの若返りと健康寿命の延伸に取り組めます。	○本市の立地や環境の優位性を活かし、情報発信や住宅施策を進めることが有効であるとし、文章を修正(アンケート結果、推進委員からの意見)	都市部に近接した立地や豊かな歴史資源と自然環境等、本市固有の魅力を発信するとともに、空家活用や公営住宅の整備等、多種多様な居住ニーズに対応した住宅政策により、移住・定住を促進します。
KPI①	移住・定住総合相談窓口への相談件数	○コロナ禍を踏まえ、窓口での相談を控える社会情勢であり、ウェブサイトやSNS等を活用し、興味を持ってもらえるような情報発信が必要であることから適切な指標へ見直し	移住定住サイトへのアクセス数(累計)
KPI②	空き家活用件数	○空家活用を進めるため、現在運用している制度の情報を発信し、アクセスしてもらうことが重要であることから適切な指標へ見直し	空家バンク制度登録件数
重点項目③	③地域の宝の発掘・活用による地域産業の再生	○修正なし	③地域の宝の発掘・活用による地域産業の再生
方向性	地域産業の再生と雇用の創出のため、企業誘致の促進、生産性の向上や新たな事業に参入する企業・事業者の地域活性化につながる取り組みを支援するとともに、SOHOやテレワークなど自宅等を活用した起業をはじめ、空き家の有効活用によるシェアオフィス等、多様な働き方ができる仕組みと、ひとつづくりを推進します。	○幹線道路沿道の企業誘致の取り組みを追記(推進委員からの意見) ○横断的視点であるデジタル技術を活用し、多様な働き方の仕組みを進め、地域企業支援と雇用の確保が移住定住に繋がるものとの視点から文章修正	地域経済の再生と雇用を創出するため、幹線道路沿道のポテンシャルを活かした企業立地を促進します。また、新たな事業に参入する企業・事業者への支援等、地域活性化につながる取り組みを推進するとともに、テレワークやシェアオフィス等、多様な働き方ができる仕組みづくりを進めます。
KPI①	空き家活用件数(再掲)	○創業支援が進むことで、事業所数の増加が見込まれ、新たなしごと創出に寄与するものとの考えから設定(推進委員からの意見)	創業支援事業補助金申請者数(累計)
KPI②	創業相談窓口への相談件数	○関係機関と連携した就職支援・雇用支援により、移住・定住に繋がるものとの考えから設定(関係課からの意見)	就職支援・雇用支援の講座等受講者数
重点項目④	④地域経済の活性化を担う地元企業や店舗等への支援	○修正なし	④地域経済の活性化を担う地元企業や店舗等への支援
方向性	共に地域を支える地元企業や店舗に対して、企業間、商工会や金融機関、ハローワーク等とのネットワークの構築を推進するとともに、地元住民の雇用や仕事と家庭の両立支援に取り組んでいる企業の紹介を行うなど、地域経済の活性化を担う地元企業や店舗等への支援を行います。	○関係機関のネットワーク化や連携により、地元企業支援を進める視点で文章を修正 ○方向性の考え方に変更なし	地域企業や店舗の経営基盤の強化を図るため、企業間、商工会や金融機関、ハローワーク等とのネットワークの構築を推進するとともに、各種融資制度や助成制度の活用、経営改善に向けた相談等を通じ、地元企業や店舗等を支援します。
KPI①	子育てに優しい企業認定数	○指標は、総合基本計画の地域産業の活性化に関する目標指標から抜粋し、設定(推進委員からの意見)	総事業所数
重点項目⑤	⑤地域農業の活性化	○修正なし	⑤地域農業の活性化
方向性	新鮮で安全な農作物の提供や、特産品等の販売拡大による地域農業全体の活性化と増加傾向にある遊休農地の解消を推進するため、6次産業化や新たな品種の開発などブランド力の強化による付加価値の創造を推進するとともに、新たな担い手の確保と支援に取り組めます。	○横断的視点から、DXを推進し、地域農業の活性化を図り、移住や定住に繋げる考えから文章修正	地域農業全体の活性化と増加傾向にある遊休農地の解消を図るため、デジタル技術を活用したスマート農業の導入支援等により、農家の稼ぐ力の向上と新たな担い手となる新規就農者の確保に取り組むとともに、6次産業化や新たな品種開発等、ブランド力の強化による付加価値の創造を推進します。
KPI①	6次産業化による商品開発数(累計)	○修正なし	6次産業化による商品開発数(累計)
KPI②	新規就農者数(累計)	○目標値を修正	新規就農者数(累計)

	第1期総合戦略(平成28年3月策定)	改訂の視点	第2期総合戦略(素案)
戦略の柱3	羽曳野でいきいきと安心して暮らせる環境を整える	○修正なし	羽曳野でいきいきと安心して暮らせる環境を整える
方向性	本市に住んでみたいと思われる、選ばれる地域環境や安全・安心な生活環境の整備等により、若い世代等の定住化を促進するなど、羽曳野で安心していきいきと暮らせる環境を整えます。	○まちの魅力を発信するシティプロモーションの視点を追記 ○横断的視点から、多様な人材の活躍を追記	本市に「住み続けたい、住んでみたい」と思われる選ばれるまちをめざし、安全・安心な生活環境の充実や、戦略的な広報・プロモーションによる効果的な情報発信を行うなど、都市としての魅力向上、定住の促進、関係人口の拡大を図ります。 また、複雑・多様化する地域課題を解決するため、民間事業者や大学等の多様な主体と連携した取り組みを推進するとともに、地域コミュニティ活動の支援を行い、地域との連携強化を図ります。
数値目標	住み続けたいと思う市民の割合	○目標値の見直し(総合基本計画と整合)	住み続けたいと思う市民の割合
重点項目①	①世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」の保存・活用	○日本遺産に認定された「竹内街道」を追記	①世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」・日本遺産「竹内街道」の保存・活用
方向性	世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」を通じた郷土を愛する心を育むとともに、世界的に文化価値の高い文化都市としての魅力を高めるため、大阪府・堺市・藤井寺市及び関係機関と連携し、古市古墳群の保存・活用、ガイダンス機能の充実に取り組みます。	○重点項目の見直しに合わせ、文章修正	世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」・日本遺産「竹内街道」を通じた郷土を愛する心を育むとともに、世界的に価値の高い文化都市としての魅力を高める取り組みを進めます。 また、関係自治体と連携し、歴史資産の保存・活用、ガイダンス機能の充実に取り組みます。
KPI①	ガイダンス施設来訪者数	○修正なし	ガイダンス施設来訪者数
KPI②	もずふる応援隊登録者数(累計)	○目標値の見直し(総合基本計画と整合)	もずふる応援隊登録者数(累計)
重点項目②	②交流拠点の形成	○修正なし	② 交流拠点の形成
方向性	世代間や地域間の交流などによる、福祉や子育て、防災・防犯などの見守りや支えあいのある安心なまちづくりの基礎を構築するため、人々が多く行きかう公園等の活用や、駅周辺ターミナル機能の強化及び道路ネットワークの充実を図るとともに、公共施設の最適化とあわせて空き家等も活用した交流拠点の形成と交流の機会づくりを推進します。	○横断的視点から、多様な人材の活躍(関係人口拡大)、DXの推進を追記	世代間や地域間の交流による福祉や子育て、防災・防犯等の見守りや、支えあいのある安心なまちづくりの基礎を構築するため、人々が多く利用する公園等の活用や、駅周辺のターミナル機能の強化および道路ネットワークの充実を図ります。 また、公共施設の最適化とあわせて空き家等も活用した交流拠点の形成を図るとともに、来訪者や住民の利便性を高めるデジタル技術の活用を行うなど、関係人口の拡大や地域全体の活性化に取り組みます。
KPI①	道の駅しらとりの郷・羽曳野来場者数	○表現の見直し	道の駅しらとりの郷・羽曳野利用者数
KPI②	公共施設等へのWi-Fi整備箇所数	○適切な指標への見直し(年度→累計)	公共施設等へのWi-Fi整備箇所数(累計)
重点項目③	③災害に強い、安全・安心な生活環境の整備	○横断的視点から持続可能なまちづくり(SDGsの視点)の要素を追加	③ 安全で安心して住み続けられる持続可能なまちの実現に向けた環境整備
方向性	災害に強く、交通事故や犯罪の少ないまちづくりや、高齢者や障害者などにやさしいまちづくりによる安全・安心な暮らしを確保するため、住宅の耐震化の促進や防犯灯の設置等をすすめるとともに、防災・減災対策、交通安全や防犯意識の向上を、地域や市民とともに推進することができる環境の整備に取り組みます。	○重点項目の見直しに合わせ、文章修正	高齢者や障害者等にもやさしい安全・安心な暮らしを確保するため、住宅の耐震化をはじめ、防犯カメラや防犯灯の設置等を促進します。 また、防災・減災や交通安全、防犯等の意識啓発を図り、地域や市民との協働による安全なまちづくりを推進する環境整備に取り組みます。 加えて、脱炭素社会、循環型社会の実現に向けて、環境にやさしい持続可能なまちづくりをめざします。
KPI①	自主防災組織編成率	○目標値の見直し(総合基本計画と整合)	自主防災組織編成率
KPI②	刑法犯認知件数	○目標値の見直し(総合基本計画と整合)	刑法犯認知件数
重点項目④	④学生の市内居住の促進と若い力の参画	○多様な人材の活躍(国の視点・横断的視点)を踏まえ、これまでの重点項目「学生の定住促進と若い力の参画」を包含する重点項目に見直し	④ 民間事業者や大学等の多様な主体との連携
方向性	市内及び近隣の大学へ市外から通学する学生に対して、通学時間の短縮によるライフスタイルの充実と地域密着による愛着心、地域活動への参加意識の醸成を促進するため、大学・地域・民間企業等と連携した遊休不動産等の再生・利活用による住宅の確保に向けた取り組みを行うとともに、地域課題の解決に向けた若い力の参画を推進します。	○重点項目の見直しに合わせた文章修正	定住化の促進と関係人口の拡大に向け、民間事業者や大学等の多様な主体と連携し、地域における課題の解決や活性化を図ります。
KPI①	市内大学に通う学生が本市に居住している割合	○重点項目の見直しの視点に応じた指標の見直し	包括連携協定の締結件数(累計)
KPI②	—	○戦略の柱1、重点項目④の再掲	大学との連携による新たな事業数(累計)
KPI③	—	○市民協働によるまちづくりの視点で新たに設定(推進委員からの意見)	緑と市民の協働ふれあいプラザ(エコプラザはにふ)利用者数
重点項目⑤	—	○新たな項目の設定	⑤ シティプロモーションの推進
方向性	—	○市の魅力を発信するシティプロモーションの取り組みを新たに設定 ○大阪・関西万博のインパクトを活かした取り組み(大阪府の視点)を追記	戦略的なシティプロモーションの展開により、まちの新しい魅力を創造・発信することにより、まちの愛着と誇りを醸成し、市内外の方から選ばれるまちをめざします。 また、2025年に開催される大阪・関西万博のインパクトを活用し、歴史資産や特産物等の地域の魅力を効果的に発信します。
KPI①	—	○重点項目に応じた指標を設定	市公式ユーチューブ再生回数
KPI②	—	○重点項目に応じた指標を設定	ふるさと応援寄附の寄附額
重点項目⑥	—	○新たな項目の設定	⑥ DXの推進
方向性	—	○横断的視点から、DXの推進を追記 ○「全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」の実現をめざす「デジタル田園都市国家構想」の取り組み方針の考え方を追記(国の視点)	デジタルの力を活用し、地域課題の解決や魅力向上を図るとともに、地理的な制約、年齢、性別、障害の有無にかかわらず、誰もがデジタル化の恩恵を享受することで、豊かさを実感できる「誰一人取り残されない」ための取り組みを推進します。
KPI①	—	○重点項目に応じた指標を設定	高齢者向けスマートフォン教室の参加者数(累計)
KPI②	—	○重点項目に応じた指標を設定	行政手続きのオンライン化件数(累計)